

## 基本目標 2

### 新しいひとの流れをつくり、受け入れ体制を整える

#### 【数値目標】

5年後の交流人口を2019年比10%増加させます

#### 【課題】

- ・大崎町の魅力を学ぶ機会が少ない
- ・住宅需給のバランスが崩れている
- ・情報発信が弱い
- ・新しい社会課題に対する専門性のある人材が少ない
- ・官民連携の機会が不足している



#### 【具体的な取組み】

体験型観光の推進と多言語対応体制の整備  
空き家の活用による移住・定住の促進  
地域情報発信の強化  
専門性のある人材の確保  
中間支援組織の設立



## 基本目標 3

### 若い世代を中心として、多様性のあるまちをつくる

#### 【数値目標】

5年間の合計特殊出生率1.81ポイント以上を維持します

5年間の出生者数500人を実現します。

#### 【課題】

- ・女性の社会参画率が低い
- ・幅広い世代に保健医療と教育への不安がある
- ・子どもたちへのキャリア教育の機会が少ない
- ・住民としての外国人の受け入れ体制が不足している
- ・高齢化に伴う生活不安がある



#### 【具体的な取組み】

女性の社会進出をサポートする起業支援事業  
子育て世帯の経済的負担の緩和  
リサイクル起点で世界とつながるグローバル教育事業  
多文化理解の推進  
持続可能なリサイクルシステムの検討



## 基本目標 4

### 誰もが住み続けられる地域循環型のまちをつくる

#### 【数値目標】

5年後の都市計画区域内人口比率67%以上を維持します。

#### 【課題】

- ・コミュニティの自治機能が低下している
- ・災害対応が複雑化している
- ・人口減少に伴い生活基盤の維持管理が困難になっている
- ・地域循環のまちをつくる人的・物的資源が不足している



#### 【具体的な取組み】

コミュニティのあり方の検討  
地域防災体制の強化  
効率的なまちづくり  
SDGs型地域経営モデルの推進

